

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	□□□風音（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	コロロメソッドによる療育を基本としているため、スタッフ間で方針のバラつきがなく、共通意識を持って療育を行っています。	同グループ内でzoomを繋ぎ、定期的にお子さんたちへの対応技術の研修、理論的な研修を行っています。 また、対応に苦慮するお子さんがいた場合は事例を持ち寄り、全体でアイデアを出し合い乗り越える等、チームで療育に当たるという意識で行っています。	コロロメソッドの療育方法を知っていただき、一人でも多くの理解者が増えることはお子さんたちの利益に繋がると感じています。学校の先生、相談支援員さんなど、お子さんを取り巻く支援者の見学は随時お受けしていきたいです。
2	集団適応力を育む「リズム体操」「集会」「歩行トレーニング」など、自閉症のお子さんに対する効果的なプログラムがあり、その日その時のお子さんたちに合わせて柔軟に組んで行うことが出来る点。	お子さんの様子を細かく観察し、その時々に適した活動を行う（即時プログラムを組む）ことで、お子さんを自然と集団に巻き込み、適応力を高められるようにしています。そのためにも、活動後に振り返りの時間を持ち、お子さんの行動の分析を怠らないようにしています。	日々の活動がパターン化しないように、季節に応じた行事を企画したり、同グループとの合同行事の機会を作れるように計画します。
3	教室の中だけでなく、ご家庭でも療育を実践できるよう、具体的な対応を面談時や連絡帳にてお伝えしている点。	特定のスタッフとだけ、コロロの教室でだけ出来るのではなく、「いつでも どこでも だれとでも」行動を取れる力が伸びるように、保護者の皆様に日頃の関わり方をお伝えする時間が取れるように意識しています。	ご家庭の中だけではなかなかうまくいかないことを教室の中で保護者の方と練習できるよう、親子トレーニングの機会を作れるように計画します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子を見学して頂く機会が少ないこと。	季節行事は行っていますが、参観など親子行事を計画できていません。	親子トレーニングの機会を作ることで、普段の活動の様子のイメージを持っていただくとともに、家庭療育のモチベーションを高められるようにしていきます。
2	地域とのつながりが弱いこと。	療育を目的として通室している利用者が多いため、事業所としては地域交流に対するニーズがないという認識です。	療育の一環として、地域の方とあいさつを交わす、交通ルールやマナーを守り地域の中で受け入れられる子供たちにしていくことを目指して参ります。
3	広報が弱く、活動の様子等をなかなか外部に発信できていない点。	InstagramやHPの運営に関して長けているスタッフがいない為、SNSを上手く使いこなせず、外部に向けての情報発信が弱いです。	SNSの更新の頻度を上げ、一人でも多くの方にコロロの活動を知って頂けるよう努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ココロ風音（児童発達支援）

公表日 2026年 3月 7日

利用児童数 2026年 3月 7日 7名 回収数 6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1	0	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	1	・パーテーションがあり、利用者の負担にならないよう工夫されていると感じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	面談で詳しく教えてもらっていることはとても助かっています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0	
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	1	特に求めていません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	0	0	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	0	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	3	1	2	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	とても満足しています。これからもお願いします。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	□□□風音（児童発達支援）	公表日	2026年 3月 7日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	物を雑多に置かず、皆と一緒に同じ活動をする事で視覚的にお子さんたちにとって分かりやすい環境を意識している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	活動終了後、スタッフ間の申し送りで話す機会をつくり、そこから次回への改善を試みている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	独自のコロロメソッドを根底の考え方として共有する事で、お子さんへのアセスメントや対応にずれが生じないようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		児童発達支援に関しては令和7年度からの開所であり、まだ就学移行のお子さんの例がありませんが、今後適切な情報共有に努めたいと思います。
	28	(28~30は、センターのみ回答)	/	/		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		面談でのアドバイスに留まらず、歩行や学習についても母子トレーニングの機会を増やしていく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	2	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるごどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	システムはあるが、対象となる方は今のところいない。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロロ風音（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	コロロメソッドによる療育を基本としているため、スタッフ間で方針のバラつきがなく、共通意識を持って療育を行っています。	同グループ内でzoomを繋ぎ、定期的にお子さんたちへの対応技術の研修、理論的な研修を行っています。 また、対応に苦慮するお子さんがいた場合は事例を持ち寄り、全体でアイデアを出し合い乗り越える等、チームで療育に当たると意識で行っています。	コロロメソッドの療育方法を知っていただき、一人でも多くの理解者が増えることはお子さんたちの利益に繋がると感じています。学校の先生、相談支援員さんなど、お子さんを取り巻く支援者の見学は随時お受けしていきたいです。
2	集団適応力を育む「リズム体操」「集会」「歩行トレーニング」など、自閉症のお子さんに対する効果的なプログラムがあり、その日その時のお子さんたちに合わせて柔軟に組んで行うことが出来る点。	お子さんの様子を細かく観察し、その時々に応じた活動を行う（即時プログラムを組む）ことで、お子さんを自然と集団に巻き込み、適応力を高められるようにしています。そのためにも、活動後に振り返りの時間を持ち、お子さんの行動の分析を怠らないようにしています。	日々の活動がパターン化しないように、季節に応じた行事を企画したり、同グループとの合同行事の機会を作れるように計画します。
3	教室の中だけでなく、ご家庭でも療育を実践できるよう、具体的な対応を面談時や連絡帳にてお伝えしている点。	特定のスタッフとだけ、コロロの教室でだけ出来るのではなく、「いつでも どこでも だれとでも」行動を取れる力が伸びるように、保護者の皆様に日頃の関わり方をお伝えする時間が取れるように意識しています。	ご家庭の中だけではなかなかうまくいかないことを教室の中で保護者の方と練習できるよう、親子トレーニングの機会を作れるように計画します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていない点。	利用者さんのお住まいが広範囲にまたがっているため、送迎がしづらいことと、私たちは親御さんから直接様子をうかがいながらお預かりし、活動の様子をお伝えしながらお返しすることが意義深いと思っています。 ですが、お問い合わせの時点で送迎サービスを望まれる方も多く、送迎サービスがないという理由で利用をお断りされる現状も把握しています。	車で送迎される方がお困りにならないよう、教室周辺の駐車場の地図を作成し、ご案内します。
2	広報が弱く、活動の様子等をなかなか外部に発信できていない点。	InstagramやHPの運営に関して長けているスタッフが少ないため、SNSを上手く使いこなせず、外部に向けての情報発信が弱い点です。	SNSの更新の頻度を上げ、一人でも多くの方にコロロの活動を知って頂けるよう努めます。
3	地域とのつながりが弱いこと。	療育を目的として通室している利用者が多いため、事業所としては地域交流に対するニーズがないという認識です。	療育の一環として、地域の方とあいさつを交わす、交通ルールやマナーを守り地域の中で受け入れられる子供たちにしていくことを目指して参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ココロ風音（放課後等デイサービス）

公表日 2026年3月7日

利用児童数 2026年3月7日

38名

回収数 33

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31			2	いつも先生方を見ると安心します。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33				子どもの特性を見極めて、子どもに合った対応をしてくださいます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			4		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	6	19	機会がなくても満足しています	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31			2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33				困り事があると、すぐにアドバイスを下さいます。	今後も、お子さんたちの社会適応に向け、発達を促すためのアドバイスができるよう努めて参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17			16		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	1		6	放デイ向けにもう少し情報があれば助かります	HPやInstagramの更新頻度を上げ、活動の様子をより発信できるようにいたします。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31			2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	3		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				とてもとても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コロナ風音（放課後等デイサービス）		公表日		2026年 3月 7日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	物を雑多に置かず、皆と一緒に同じ活動をする事で視覚的にお子さんたちにとって分かりやすい環境を意識している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	活動終了後、スタッフ間の申し送りで話す機会をつくり、そこから次回への改善を試みている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	独自のコロナモソッドを根底の考え方として共有する事で、お子さんへのアセスメントや対応にずれが生じないようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	4		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	システムはあるが、対象となる方は今のところいない。	